

ISSN 1882-9511

# 愛知学院大学薬学会誌

第14巻 2021年12月

*THE AICHI-GAKUIN JOURNAL OF PHARMACEUTICAL SCIENCES*

Volume 14 December 2021

愛知学院大学薬学会  
THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF  
PHARMACEUTICAL SCIENCES  
NAGOYA JAPAN

# 巻 頭 言

## 大学院薬学研究科開設 10 年を迎えて

大学院 薬学研究科長 佐藤雅彦

2012 年 4 月、本学大学院に薬学研究科博士課程が開設され、今年度 10 年目を迎えました。本研究科は、薬学研究者や高度な薬学専門性を持った医療人を育成することを目的としており、これまでに、大学の教員、国立研究機関の研究者、あるいは研究スキルを身につけた薬剤師を輩出しております。

現代社会において、未だ治療困難な疾患は数多く存在し、新薬を含む治療法の開発が待たれています。さらに、超高齢社会へと進む中で、健康寿命の延伸を目指した疾病予防において予防薬学の重要性が増しています。また、ますます高度化、複雑化する医療現場において、研究スキルを身につけた薬剤師の必要性・重要性も増しています。本学大学院薬学研究科では、創薬科学、生命科学、医療薬学、臨床薬学、予防薬学などの専門領域において第一線で活躍している教員陣が、最先端かつ高度な研究活動を行いながら教育・研究の指導に情熱を注いでいます。

人は、一生の間に多くの人々と出会い、様々な影響を受けながら人生を過ごしています。その中で、その人の人生に大きな影響を与える人との出会いがあります。私は、大学在学中に卒業研究のために配属された研究室の教授と助教授との出会いがなければ、大学院へ進学することも、研究の道へ進むこともありませんでした。いわゆる恩師との出会いが自分の人生を決定づけたと言っても過言ではありません。今でも、恩師と弟子の関係は続いており、私の財産となっています。薬学研究は、生命の神秘を探求でき、世界で初めての発見・開発・証明ができ、医療にも貢献でき、そして研究成果（論文）は人類の歴史に刻まれます。このように、研究は、魅力ある職業です。本学学部生も大学生活の中で恩師と出会い、一人でも多くの学生が大学院へ進学し、研究者として飛び立つことを願っています。

### 【一言】

近頃、大学教員の求人情報をウェブ検索すると、ほとんどの薬系大学で、「教授」を公募する際、応募資格に「博士の学位を有する者、薬剤師免許を有することが望ましい」あるいは「薬剤師免許および博士の学位を有する者」と記されており、薬剤師かつ博士の学位取得者が求められています。さらに、多くの大学が、男女共同参画社会基本法に基づいて、女性研究者支援をはじめとする男女共同参画に係る取り組みを積極的に推進しています。実際に、「教授」の公募案内に『〇〇大学では、男女共同参画を推進しており、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。』といったようなことを掲げている大学が増えてきています。国立研究機関でも同様です。女性研究者の積極的な採用・登用が行われていますので、薬学部の女子学生もぜひ研究者を目指していただきたいと思います。

—目 次—

・巻頭言

大学院薬学研究科開設 10 年を迎えて  
薬学研究科長 佐藤雅彦

・総説

輸液療法時における医薬品師の役割  
脇屋義文、梅村雅之・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

・学会報告

学会開催報告

フォーラム 2020：衛生薬学・環境トキシコロジー開催報告  
佐藤雅彦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

学会参加報告

第 29 回 微生物シンポジウム - ベルベリン誘導体の緑膿菌 MexXY 多剤排出系阻害と抗黄色  
ブドウ球菌活性のメカニズム

小谷謙太、齋藤康平、富田純子、森田雄二、西野邦彦、河村好章・・・・・・・・ 13

第 54 回 日本細菌学会 - ベルベリンの緑膿菌 MexXY アミノグリコシド排出系阻害作用の増  
強と分子メカニズム

小谷謙太、森田雄二、富田純子、西野邦彦、河村好章・・・・・・・・ 15

第 47 回複素環化学討論会 - 銅触媒下で三成分反応を利用した 5-セラニルトリアゾールの一  
般合成

山田瑞希・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

日本薬学会 第 138 年会 - 血管新生阻害薬投与後における蛋白尿に関する検討

富田啓介、鈴木大介、近藤光男、梅村雅之、森田雄二、河村好章・・・・・・・・ 19

日本薬学会 第 139 年会 - 緑膿菌に対してアミノグリコシド系薬感受性増大作用させるベルベ  
リン誘導体の開発

小谷謙太、久綱僚、富田純子、森田雄二、河村好章・・・・・・・・ 20

第 94 回 薬理学会年会 - ヒト、ニワトリ間において TRPA1 の亜鉛感受性は異なる

松原匡希、波多野紀行、鈴木裕可、村木由起子、村木克彦・・・・・・・・ 22

日本薬学会 第 141 年会 - ポリアクリルアミドゲル上でのマスト細胞の刺激応答

外山真希、伊納義和、横川慧、古野忠秀・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

日本薬学会 第 141 年会 - 添加剤がとろみ剤による酸化マグネシウム崩壊時間延長に及ぼす影響	
福島康仁、福地南、渡邊法男、安藤基純、河原昌美、山本浩充	24
日本薬学会 第 141 年会 - Pd 触媒下で行う 5 価アンチモン試薬とベンゾフランを用いた $\alpha$ 位選択的 C-H アリール化反応	
北村有希	26
日本薬学会 第 141 年会 - 加熱溶融混練物を核粒子とした乾式微粒子コーティングにおける被覆特性の評価	
外山駿、安永峻也、安藤徹、市川秀喜、小川法子、山本浩充	28
第 48 回 日本毒性学会学術年会 - カドミウム腎毒性に及ぼすレチノイン酸経路の影響	
森稚景	30
第 18 回 市民公開セミナー ~最近増えてきた胃腸のアレルギー病~	
森稚景	32
・医療生命薬学研究所報告	
2021 年度医療生命薬学研究所組織および助成	35
第 8 回サイエンスフォーラム プログラムおよび要旨集	
老年期精神疾患患者のコンプライアンス向上を目指した抗精神病薬の非経口製剤化 (横断型研究)	
小川法子、上井優一 (医療生命薬学研究ユニット)	39
カチオン性イミダゾピリジン誘導体を利用した新規蛍光プローブの開発 (横断型研究)	
松村実生、伊納義和 (医療生命薬学研究ユニット)	41
低酸素による認知機能障害における HIF-1 $\alpha$ シグナルの関与の検討 (個人研究)	
兒玉大介 (医療生命薬学研究ユニット)	42
癌転移における新規メチル基転移酵素の機能解析 (個人研究)	
原敏文 (医療生命薬学研究ユニット)	44
省エネルギー、コスト削減を目的とした乾式微粒子コーティング用基剤の設計に関する研究 (個人研究)	
安永峻也 (医療生命薬学研究ユニット)	46
計算化学を活用した院内製剤のオンデマンド設計と調製法の開発 (個人研究)	
神野伸一郎 (医療生命薬学研究ユニット)	48
新カリキュラムによる教育効果の検証 (まとめ) (連携研究)	
波多野紀行、武田良文 (高等教育研究ユニット)	49

・各種委員会報告	
薬学部国際交流委員会活動報告	52
薬学部FD委員会活動報告	56
・講座紹介・卒業論文課題一覧	
講座紹介	59
薬学部医療薬学科12期生卒業論文課題一覧	94
・評議委員会便り	
令和3年度愛知学院大学薬学会総会議事録	99
・薬学会会則および各種規程	105
・名誉会員一覧	121

協賛

編集後記